

図書館へ行こう！

二学期が始まって2週間が過ぎようとしています。一学期～夏休みの読書生活を振り返り、充実した読書の秋を迎えましょう。

先生方おすすめの1冊

社会科 赤波江公樹先生のおすすめ
石田衣良著『シューカツ』



大学4年生時、私も就職活動を行いました。私は昭和48年第二次ベビーブームで人口の多い世代、さらにバブル崩壊直後の超就職氷河期でのシューカツだったので、大変苦労しました(ちなみに日向学院に就職したのは30歳を過ぎてからです)。この本を読んで、当時の事を思い出しました。

私の時は、シューカツといえば面接ばかりでしたが、現在はSPI(筆記試験)、集団面接、グループディスカッション等、多様化しています。そのような実際の試験の取り組みや、企業の選定、また不合格だった時の苦しみ等、リアルに表現されています。何よりも、私もそうだったのですが、苦しい時の仲間のありがたさが、よく伝わってくるストーリーです。

就職はまだ早いと思うかもしれませんが、将来に備えて、今のうちに現実を知っておくのも良いと思います。

宗教科 中田 正一郎先生のおすすめ
瀬谷ルミ子著『職業は武装解除』



みなさんは、争いのある場所から「和解」を作り出す具体的な行動をいくつか思い浮かべることができますか？ 間に入ってお互いをなだめる、争うことの意味のなさを説く、お互いの悪かったところ、コミュニケーション不足などに気づかせる…。これが、こと紛争・戦争という状況にあると、人の命がかかわってくるので、非常に難しくなります。そんな状況の中

で人々の和解と平和のために世界を股にかけて働く一人の日本人女性があります。瀬谷ルミ子さん。この本はそんな彼女の自伝です。

日本という国に住んでいると感じられない世界の抱える苦しみ。そこに「群馬の田舎生まれ」の一人の少女がどのように目を向け、世界に向けて具体的な行動を起こしていったのか、それがつづられています。

もちろん現状の難しさについても触れられていますが、宮崎という世界の中の点にしか過ぎないこの地から、「世界」に関心を持つ人が一人でも育ってほしいという願いを込めて、この本をお勧めします。彼女のように、大きな夢のある人生を描きませんか？

2学期の図書館カウンター当番です。よろしくね！



<2学期>	月	火	水	木	金
昼休み 12:45～13:00	2 A 荒川・細川	2 D 鹿野・黒木	2 B 児玉・村井	2 A 荒川・細川	2 C 小西・森迫
放課後 16:15～17:00	2-2 中村・村山	2-1 緒方・南村	2-3 百市・前田	1-1 長野・矢田部	1-2 黒木・中村



本の「貸し出し」「返却」手続きは、昼休み…高校委員、放課後…中学委員が担当します。

2学期の図書館展示は「バベルの塔」、「1808年5月3日」、そして「無言館」。平和と芸術について考えてみましょう。